

## ◆木曾岬干拓地にメガソーラー事業スタート◆

平成23年12月に私の一般質問で知事に提案し議論した木曾岬干拓地のメガソーラー事業がスタートします。以下その概要を記載します。尚、本県内で市町・民間で既に13カ所の計画があり、合計最大出力は40メガワットで約13,000世帯の年間使用電力量に相当します。(平成24年12月7日現在)

木曾岬干拓地のメガソーラーは最大出力48.7メガワットで約15,000世帯の年間使用電力量に相当するため合計で約28,000世帯の年間使用電力量の発電が本県内で行われることとなります。

### 《木曾岬干拓地メガソーラー事業概要》

- 事業場所・面積：約78ha（三重県約62ha・愛知県約16ha）
- 事業候補者：丸紅株式会社
- 総事業費：約160億円
- 事業期間（予定）：工事期間 平成25年5月～平成26年9月（1年5か月間）  
 運転期間 平成26年10月～平成46年9月（20年間）
- その他：土地賃借料、約26億4千万円（20年間）  
 税金（事業者試算）、固定資産税等の地方税約25億円（20年間）

## ◆大矢知・平津事案等産業廃棄物不法投棄対応の進捗状況◆

平成16年度に県議会に廃棄物総合対策特別委員会を設置し私がこれまで継続して取り組んできた不法投棄事案について四日市市内では長年の課題となっていた大矢知・平津事案と内山事案が解決の方向に向けて動き始めました。地元住民との協議を重ね下記の通り行政代執行を行うことが決定しました。

### 《大矢知・平津事案》

平成20年10月から四者協議（地元・学識経験者・市・県）を開始し平成24年7月12日の第14回会議の合意を以て、「協議の段階」から「実施の段階」へ移行。

合意内容は、①廃棄物の飛散・流出防止対策②雨水の浸透抑制対策③雨水適切排除のための排水路等整備

☞合意内容履行のため平成25年度予算要求額約7億763万円。

平成25年4月対策工着手予定（平成32年度完了予定）

### 《内山事案》

平成19年2月16日から行政代執行により硫化水素ガス等の回収処理、立入禁止措置。平成23年9月から地元と学識経験者による技術検討専門委員会を四回開催し硫化水素ガス発生抑制対策および恒久対策の検討が行われました。

☞検討結果履行のため平成25年度予算要求額約2億3,815万円。

平成24年11月15日対策工着手（平成29年度完了予定）

## いながき昭義プロフィール

昭和47年6月10日 四日市市東坂部町生まれ（現在40歳）  
 大池中学校・四日市高等学校・立教大学法学部卒業  
 平成7年4月 株式会社三重銀行入行（富田支店に配属）  
 平成10年8月 株式会社三重銀行退社 次世代のために政治活動開始  
 平成11年4月 三重県議会議員選挙出馬（26歳）12,431票で次点（416票差）  
 学習塾・パソコン教室などを立ち上げ4年間生活。  
 NPO法人三重県フリーマーケット協会設立などたくさんのNPO活動に携わる。  
 平成15年4月 三重県議会議員選挙 初当選（30歳）最年少  
 平成19年4月 三重県議会議員選挙 二期連続当選  
 平成23年4月 三重県議会議員選挙 三期連続当選

政策防災常任委員会委員長、NPO等ソーシャルビジネス支援調査特別委員会委員長、  
 四日市港管理組合議会第45代議長（歴代最年少）等を歴任

【現在】 県議会最大会派「新政みえ」政策局長

発行：いながき昭義事務所 電話059-330-4088 FAX059-330-4089 〒512-0904 四日市市東坂部町75-1

<http://www.dream-21.jp>

三重県議会議員

あきよし

# いながき昭義

後援会  
 会報

## Contents もくじ

- ごあいさつ
- 県政座談会のご案内
- 一般質問に登壇!!様々な提案が実現
- 木曾岬干拓地にメガソーラー事業スタート
- 産業廃棄物不法投棄事案対応の進捗状況
- いながき昭義プロフィール



新しい年を迎え気分新たに本年も全力で走り続けたいと思います。本年もよろしくお願い致します。

年末衆議院が解散され選挙が行われました。議会と選挙活動と年末の行事等で本当に慌ただしい年末を過ごしました。選挙結果については選挙の度にこれ程大きく振れるようでは国益を害するのではと感じますが私たち政治家は民意はしっかりと受け止めなければいけません。

本県では今年伊勢神宮の式年遷宮の年でたくさんの方にお越しいただくことになり、観光政策を充実させなければいけません。また私が取り組んできた首都圏営業拠点が設置されることとなります。様々な県政課題に今年も果敢に取り組みたいと思います。

議会の選挙区と定数の議論がいよいよ特別委員会が設置されスタートします。私も委員となり定数削減と選挙区の見直しをしっかりと行いたいと考えます。

本年が貴方様にとって飛躍の一年になりますことをお祈り申し上げますと共に本年も変わらぬご指導ご支援賜りますようお願い申し上げます。

三重県議会議員 稲垣昭義

## 県政座談会のご案内

定期的で開催しております座談会を下記日程で行います。ぜひお誘い合わせでお越しください。どなたでも気軽にご参加いただける報告会です。よろしくお願い致します。

2月17日(日) 18:30～ 八郷地区市民センター  
 2月17日(日) 19:30～ 下野地区市民センター  
 2月24日(日) 14:00～ 富洲原地区市民センター  
 2月24日(日) 15:00～ 富田地区市民センター

■ブログ「初心、継続。」  
<http://ameblo.jp/dream-21>

稲垣昭義 ブログ 検索



※ブログは日々更新しています。ぜひご覧ください。

※Face Bookはじめました。こちらでも交流をお願いします。

facebook

Vol.36

# ◆一般質問に登壇!! 様々な提案が実現◆

## ■三重県中小企業振興条例制定へ!!

《平成25年度当初予算要求状況》

- ☞ (新規) 小規模事業者支援連携プロジェクト推進事業⇒ 895万7千円
- ☞ (新規) 三重県中小企業振興条例(仮称) 制定事業⇒194万4千円

稲垣昭義議員:

7月にみえ産業振興戦略が策定されたことを受けて、サービス産業振興に力を入れ、具体的に商店街を活性化することを定めることや、本県のものづくり産業を支える小規模事業者の課題解決を具体的に書き込んだ内容を持つ小規模事業者振興条例を制定すべきと考えますが、知事の御所見をお聞かせください。

鈴木英敬知事:

中小・小規模企業の経営力、活力の向上に向けた課題と今後の施策のあり方を討議する国の中小企業庁主催の「ちいさな企業」未来会議を本県に誘致します。

更に、引き続き5000社アンケートや1000社訪問などにより現場の声をしっかりと聞き、どのような中小企業振興策が有効か検討し施策に反映していくとともに、ご提案の条例は、みえ産業振興戦略を策定したことを契機として、その趣旨、理念を関係者が共有し、施策を継続的かつ計画的に具現化していくため、中小企業振興条例を制定する方向でその内容等の検討に着手します。

## ■四日市で次世代型産業コンビナートの取組スタート!!

《平成25年度当初予算要求状況》

- ☞ (新規) バイオリファイナリー推進事業⇒1,332万6千円

稲垣昭義議員:

私たちは福島第一原発の事故を経験して、今後のエネルギー政策をどうしていくのかという国論を二分した課題に直面しています。この問題は、私たちの生き方、ライフスタイルを見詰め直し、大きく変革していくことになると思います。そんな中、そこには大きなチャンスもあると捉え、本県では成長産業に位置づけ、スマートライフ促進による産業振興に取組む方針であり、非常に興味深く、期待致します。

このスマートライフ推進協議会(仮称)の創設の見込みと、どのような推進体制で今後スマートライフの促進を図っていくのかお答えをください。

また、次世代型産業コンビナートの検討も挙げてあります。四日市市のみならず本県経済を牽引してきた四日市コンビナートは、これまでの石油化学から、まさにスマートライフを促進した転換が求められています。この次世代型産業コンビナートの取組の考え方もお示し下さい。

鈴木英敬知事:

環境・エネルギー関連分野と安全・安心のまちづくりや地域活性化など地域の諸課題とを結びつけ、幸福実感の向上に資するライフスタイルへの転換を目指しつつ、全国規模で事業者のビジネスチャンスを生み出すため、産学官協創によるみえスマートライフ推進協議会を寺島実郎氏を特別顧問に招き、10月1日に発足します。

また次世代型産業コンビナートの取組として、四日市コンビナートの石油精製と石油化学産業の歴史的な技術、人材、ノウハウを生かしバイオリファイナリーの取組を全国に先駆けて進めていきます。今後、バイオリファイナリーの権威である京都大学の植田充美教授を技術顧問に迎え、四日市コンビナート企業や県内のバイオ関係企業を入れたバイオリファイナリー研究会を設立し、将来的には総合特区の活用も視野に入れ国に対して提案し、国家プロジェクト化を目指します。

※バイオリファイナリーとは、植物由来の資源を使ってエタノールを抽出、製造して、それを原料にバイオ燃料やプラスチックなどの化学製品にかえる技術や生産設備のこと。

## ■いじめ根絶に向けて様々な提案!!

《平成25年度当初予算要求状況》

- ☞ スクールカウンセラー等活用事業⇒1億6,046万円
- ☞ (新規) スクールカウンセラー等緊急活用事業⇒5,800万4千円
- ☞ (新規) いじめを許さない「絆」プロジェクト事業⇒5,352万円

稲垣昭義議員:

いじめの問題への対応についてお伺いします。国の取組方針でも、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの充実が示されていますが、今後、県としての具体的な取組方針を改めてお伺いします。また現場の校長や教師が身近に気軽に法律相談ができる体制を整える必要があると考えますが、ご所見をお聞かせ下さい。

真伏秀樹教育長:

国の方針を十分踏まえ、さらにスクールカウンセラーの配置の拡大、スクールソーシャルワーカーの増員など学校のニーズに合った人的支援ができるよう、積極的な検討を進めています。

現場の相談体制について当面は、案件に応じて積極的に弁護士や児童精神科医などの専門家を新たに加える形で学校問題サポートチームの拡充を進めていくことを検討します。このサポートチームを学校現場の要請に応じて積極的に派遣をする中で、学校や教職員が、いじめ等の対応で過度の負担とならないようなサポート体制を築いていきます。

## ■スーパー防犯灯の問題追及、改善へ!!

《平成25年度当初予算要求状況》

- ☞ 県民が安心して歩ける防犯まちづくり事業⇒2,370万5千円
- ☞ (新規) 通学路緊急安全対策事業⇒1億3,102万4千円

稲垣昭義議員:

県内に設置したスーパー防犯灯、ミニスーパー防犯灯の合計75基のうち、調査しました所、半分以上に当たる38基が現在、使用停止中となっています。特に、桑名、四日市北、鈴鹿、津地区にそれぞれ8基ずつ設置したミニスーパー防犯灯は全て止まっています。故障した際の修理費に大きな費用がかかることや維持管理費が高いことなどで、財政状況が厳しい中修理が出来ず、今後、復旧見込みはなく順次停止していくことは大きな問題と考えます。

当初の設置時の検証の甘さを踏まえ、今後この75基について警察としてどのように対応するのかお聞かせください。

斉藤実警察本部長:

この防犯灯が地域の安全・安心を確保する上で極めて重要な役割を担っていると認識をしており、昨年度から、これらの後継機として街頭緊急警報装置というものを開発し、四日市の日永地区並びに鈴鹿の白子地区に設置しました。

本年度、これを、現在スーパー防犯灯等が運用停止になっている桑名と四日市の北地区に6基設置する予定で進めており、今後、他地区のスーパー防犯灯も速やかにこの街頭緊急警報装置へ更新を進めていきます。

設置の費用は、これまで導入していたミニスーパー防犯灯が1基当たり約250万円で、今回の街頭緊急警報装置が約100万円です。また、維持管理費は1基当たり、ミニスーパー防犯灯が年間約20万円に対して、約7万円と、相当なコストのカットが見込まれます。



平成24年9月4日 島根県視察



平成24年10月14日 竜ヶ岳登頂(スズカセブンマウンテン)



平成24年10月24日 第8回ゴルフコンペ



平成24年12月6日 衆議院議員選挙応援



平成24年12月15日  
オリックスバファローズ西勇輝投手  
ノーヒットノーラン達成記念パーティー



平成24年12月19日  
来年度新政みえ予算政策要望

稲垣昭義

活動ショット!

